

趣旨：千曲川の文化を通して人と人、人と地域をリングのように結び、文化とコミュニケーションの環を広げていく

1. 概要

1) 2011年1月創刊 季刊（春：4月 夏：7月 秋：10月 冬：1月）スタッフ：7名

2) 閲覧：Web（倶楽部のHP）

上田情報ライブラリー「千曲川地域資料」コーナーにある印刷した冊子

3) コンテンツ：スタッフの取材記事や寄稿などA5で26ページ程度

スタッフの取材記事

- ✿図書館訪問記
- ✿信濃の美術館を歩く
- ✿千曲川地域の芸術家を訪ねる
- ✿はつらつシニア
- ✿セカンドライフを楽しむ
- ✿躍働
- ✿ぶらり散策
- ✿信濃を旅した文人たち
- ✿上田情報ライブラリーでは今・・・

寄稿：計14人（敬称略）

「歳月」一ノ瀬綾・「マイブルーヘブン」米津福祐・「軽井沢朗読館日記」青木裕子・身近な病気について：澤田祐介・「観点」岡田基幸・随想：嶋田貴美子・

「上田小県地域の歯科医療の源流を辿る」村居正雄・「ラ・マンチャの白い風」

桜田義文・「忘却のえびす講物語」清水たか子・「Book Café Library」内野安彦・

「映画館学事始」芝山豊・「知られざる古代史」酒井春人・「自然を友に信州の日々を楽しむ」山口登

2. 発行手順

1) 企画会議・取材先調べ・・・取材先を決める 関連の本を読む データベースで調べる

2) 取材・執筆・・・インタビュー及び写真撮影 取材した内容を原稿にまとめる

3) 編集・発行

3. 6年が経過してスタッフの感想

- ・取材先から好反応が得られ、やり甲斐を感じる。
- ・地域には魅力的な人がいっぱいいる。
- ・環の取材をすることで、地域のさまざまな人と出会うことができる。
- ・カメラマンスタッフから写真撮影技術のアドバイスをもらえる。
- ・文章を書く楽しさと難しさを味わっている。
- ・取材前に資料を読んだりデータベース検索をしたりすることによって知識が広がる。
- ・取材した方々から素晴らしさと元気をもらい、継続の力になっている。

